

南東北インターハイ 草花装飾に向けた試験栽培

次年度に福島県、宮城県、それに山形県の南東北三県で開催される「南東北インターハイ」。地元開催のこの大会への出場及び上位入賞を目指し、西高の運動部諸君は、毎日厳しい練習に励んでいます。

このインターハイを盛り上げようと、山形県では、県内の各高校で「高校生活動推進委員会」が組織され、全国から訪れる選手や関係者の方々を「おもてなしの心で」温かく迎えようと、様々な活動に取り組んでいます。この取り組みは、昭和47年に山形県で開催された「47インターハイ」からはじまり、今ではインターハイ運営のシステムとして定着しています。

この「高校生活動」のひとつとして、県内の各高校で育てた草花で総合開会式会場や種目競技別開始式会場を装飾する「花のリレー」が計画されています。その実施に向け、今年度は県内各地で試験栽培をすることになり、村山地区では、西高が左沢高校と協力して取り組むことになりました。

7月5日（火）午後、左沢高校の生徒の皆さんが丹精込めて育ててくださったサルビアとマリーゴールドのプランター20個が西高に届けられました。本校の高校生活動推進委員は、左沢高校 木村佑先生 から、左沢高校のこれまでの取り組みをお聞きし、水のやり方や花柄摘みの仕方などを教えていただきました。

これから約1か月の間、本校の高校生活動推進委員は、試験栽培に取り組み、栽培記録を作成し、次年度の本栽培の成功を目指します。

